身の回りから近現代の3つの変化へ

私たちの身の回りの物や習慣は、近現代のどの大きな変化とつながっているか

架空の高校生の1日から：6つの場面

線の行き先：近代化　国際秩序の変化や大衆化　グローバル化

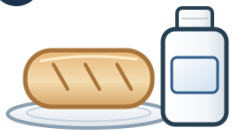
1



時刻どおりの電車と始業の合図

鉄道や工場が、時刻に合わせて動く暮らしを広げた

2



パンと牛乳の朝食

近代化へ：明治期に乳製品をつくり始めた
大衆化へ：大正期と戦後に洋食が広まった

3



新聞とテレビのニュース

新聞・ラジオ・テレビで、多くの人が同じ情報を得るようになった

4



部活動のスポーツ

スポーツを見る人・する人が、大きく増えた

5



外国でつくられた文房具

日用品が海外の工場でつくられ、国境を越えて運ばれる

6



外国語の授業

人や情報が国境を越えて行き来し、外国語の学習が重視される

近代化　国際秩序の変化や大衆化　グローバル化

1800年　1850年　1900年　境目は目安（ぼかした所）　1950年　2000年　今

1つの物や習慣が、2つ以上の変化につながることもある（②）

考えよう：ほかの物や習慣は、どの変化とつながっているか

※ 模式図。高校生と場面は架空。区間の境目は目安で、重なる時期もある。枠の理由は一例。